

城山学園便り(5月号)

平成25年5月19日(日)

編集・発行元 社会福祉法人 育友会
障害者支援施設 城山学園



生活支援員 寺田 正一

てこのに ご方保 れ職をあ撈 つうに 用い用 ひ口内の晴降園
いと方は今さと護 屋方員購 つが遠けに早学 霧し々心方れり
た、に何回れボ者食をを入たあ足る早園の利ま島ひに嬉か間続て
こそおか初るーと後し含し為、まは満にいらな者た丘とさくー見てわ
がてれごて間遊緒園おてつ職し施面なた約どのが、園わるい、た木為
係利ま迷遠をびに内散ましと。長笑ての○まや、スでてを他かツ、た。
と用し惑足楽を横策して過緒員挨をるバ程ま現ののき聞のらと当
し者てをのししにのた。いごにの撈見利スで地中移まくと、者つし天の
てのはお係んでおり時間。いるさ売挨かせ用か公園た。く外は公 遠
本方事掛やいら昼間。るさ店撈ら駆者ら園た。く外は公 遠
当が故けゆるる寝と。利れ店撈ら駆者ら園た。く外は公 遠
にーやしらるるをなり、者利ソ後、り、姿見から急ました、気が、
嬉し我事て子方しり、の用フ、屋、次がら多れ、気が、
しくかなを頂でな過バラ方者ト、食、次がら多れ、気が、
くかどおきした。し、振るる方、保 護 者 ・ と 姪 過
思つどおきした。し、振るる方、保 護 者 ・ と 姪 過
いたなくびした。し、振るる方、保 護 者 ・ と 姪 過
と足しま、保 護 者 の 方
口々を終す。保 護 者 の 方
にえ。保 護 者 の 方
言ら利用の方
われた者方

平成二五年度保護者合同一日遠足



生活支援員 寺田 正一

知たた撮委個 販来定り、業り、ま員水う桜
り灰。影員を挨売のの、灰実、記した。員会市そ島
嬉缶今で会購撈すパシ今缶行城者者、記。関長！大
しが回はへ入終るツリ年詰委山会見。係を！正噴
くいの学のし了事ケアはは員学園では、じ完
思ろ記園引て後、なジナ島園の施は、各め、成
うい者のき頂、つにン大の揆長じ、メ、記、○
次ろ会利用した設てロバ正職員が揆め、ア、正、
第な見者式大長かりを入り年利り、垂、ア、噴、
でと改の方あ噴らまれ、た、記、念、缶、の、二、種、類、を、
た。でてもり、一、レ、ミ、○、ム、年、一、○、
活利用真各○アム缶一○
用者にメ○年事○
さの納デイ年業○
れ方がりアの記○
て方がりアの記○
いが作まし記○
る事らし念○
事をれ念○

桜島大正噴火一〇〇周年降灰体感缶詰「ハイ！ど

